



第14号

発行日
平成26年3月1日

編集・発行所
宮城県気仙沼向洋高等学校同窓会
宮城県気仙沼市丸糸218-6
電話(0226)22-1181

同窓会親睦ソフトバレーボール大会 <平成25年10月20日(日) 於: 母校仮設体育館>



航跡永久に 母校に輝く未来を!!

同窓会長 熊谷幹夫

早春の候、同窓会員の皆様には益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。日頃、各々の分野でご活躍の事と存じます。そして母校向洋高の復興再建に思いを寄せられている事と拝察致します。

新聞等で既にご承知の事と存じますが来年は造成設計、二十八年年度よりは校舎建設着手、二十九年度完成、三十年度より供用開始との事。階上地区の方々とお逢いした時、「向洋高校決まって良かったネ」と声を掛けて頂き、地区の皆様とも喜びを分かち合うことが出来ました。

同窓会も復旧復興委員会を中核として、新校舎環境整備に向け運動を推進して参りたく存じますので、同窓生の皆さんの更なるご支援を宜しく致します。

平成二十五年年度気仙沼向洋高校卒業の皆さんご卒業おめでとう。

三年前の春、夢と希望を胸に受験し波路上の校舎で学ぶハズが、あの壊滅的な被災により入試だけで一度も校門を潜る事なく、入学式は気仙沼西高校で行い、以来西高・響高・米谷工高での分教授業。

十一月より漸く仮設校舎ながら一堂に会しての授業が出来る事、生徒諸君の喜ぶ様を傍から見ている、何も言う言葉もありませんでした。でもこの三年間の学校生活での苦勞の体験は、これからの人生の中で必ずや活かされる事と思います。校長先生はじめ諸先生方・職員の方々が、生徒諸君の実習や部活等に送迎を含め夜遅くまで付

き合い、サポートして下さった事への感謝を決して忘れてはなりません。「相手を思いやる心を受けた恩や真心を忘れない素直な心を…」向洋高生の心・向洋高魂を、これからの人生でどんな環境の中でも持ち続けて欲しいと願うものです。二十五年八月に東日本大震災の記録が発刊され拝読致しました。「震災に負けず未来に向かって生きていくために、そしてこの震災を忘れていくために、そしてこの震災を忘れていくために、そしてこの震災を忘れていくために」

の思いで、あの生々しい震災を思い起こす事も怖く、その悲惨な状況を伝える事に色々と心の葛藤の中、真実を伝える事の大切さとそれを伝える勇氣に刊行に関わった皆さんに心より敬意を表します。母校発祥の地・一景島、波路上の地、そして階上牧通りの地と移りても、気仙沼・本吉地域の未来を担う若人を育成する高校として向洋高魂を発揮し、水産都市気仙沼の復興発展に向けての光明となる事を願い、併せて向洋高校再建にご尽力下さいました市長・県議会議員及び関係各位、そして市民の皆様のご支援に感謝申し上げます。発刊にあたりご挨拶と致します。

平成30年4月新校舎完成!!



学校用地(6h)が取得された階上地区

学校再建用地を取得!!

気仙沼向洋高等学校復旧・復興推進委員会 会長 森 琢 男



あの震災以来、お陰様で、国や県、気仙沼市や関係諸団体のご支援・ご協力をいただきながら進めて参りました運動が実り、向洋高校移転用地として6ヘクタールを取得できました。

県は1月16日の県議会臨時議会で市内階上長磯牧通り地区の農地取得を提案し、平成29年度末の新校舎完成と平成30年度からの供用開始の予定が立ちました。

平成26年度は土地の造成の設計や建築設計、平成27年度は造成工事、平成28年度から新校舎の建設が始まります。

今後とも母校の再建に向けて関係の皆様にご支援・ご協力をお願い申し上げます。これまでの報告となりました。



永遠の宝をみやげに

校長 瀬戸 巳治雄

私はこの三年間を振り返り、まずと、あの暑い土用の頃の同窓会総会が思い出されます。恐らく新卒者がやつと職場に慣れる時期を待っての企画ではないかと思われませんが、「同窓のよしみ」とか「同朋相身互い」という言葉に代表されるとおり、互いに許し合える土壌を有し、それが高尚なものだけに限らず、相互に共鳴感を味わえるのも、同窓ならではの感慨とでもいうのでしょうか。それだけに同窓生というものは、不思議な縁で結ばれた存在なのかも知れません。

さて、今年も本校同窓会に出席させていただきまして、年齢の上下を問わず、先輩が後輩をいたわる一方、後輩が先輩の背中を見て、同窓の繋がりを喜び合えたことは、実に素晴らしいことであると実感した次第です。特に、平成二十三・二十四・二十五年度という年は、先輩たちが地元の惨状を意識する中で、後輩の無事を祈る思いは、肉親の消息を心配する想いと相通じるものがあるように思います。それだけにこの同窓会には特別の想いを持って参加された方々が多かったのではないのでしょうか。

今年も総会会場に本校の大切な「校旗」を数枚持参させて頂きました。それは津波によって流出した校旗が余りにも貴重に思うからであります。本校の歴史を刻む「宮城県水産講習所」時代のもの、さらには「宮城県気仙沼水産高等学校」時代のもの、そして現在の「宮城県気仙沼向洋高等学校」になってからのものです。いずれも原型を留めぬ状態での震災直後に近辺から発見されましたが、仮設校舎のある九条地区に近いクリーニング店のご主人の計らいで、見違えるように綺麗にして頂いたものであります。そこでこの好意に感謝をしつつ、それを卒業生の皆さんへのお土産としてご紹介させて頂いていく次第です。諸先輩の皆様方は、異口同音に本校の「復活と存続」の願いを込めて、この「永遠の宝」を守って欲しい旨のエールを頂き、校長として「本校再建」に向けて努力することを誓って参りました。今年も「再生の年」でもありますが、熊谷幹夫同窓会長をはじめ、本校の教育環境・施設の早期復旧・復興促進委員会の森琢男会長を代表とする同窓の皆様方のお陰で、未来に向けて学校発展の道筋をつけて頂きました事はあまりにも大きく、いよいよ本校が「再生の年次」に入っておりますことを実感した次第でございます。この局面を校長として、不退転の決意で臨んでおりますが、引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



1月27日(月)、毎日書道展近代詩文部審査会員等を務める書家で堂光社主宰浜田堂光〔正雄〕先輩(昭和35年度水産製造科卒)が母校に作品を寄贈した。
「感謝」という言葉は、「様々な支援に感謝する気持ちをもって生徒・職員が学校生活を送ってほしい」と瀬戸校長先生のリクエストに応えたものである。

平成24年度 事業報告

24年		
4月 9日	入学式	気仙沼市総合体育館
20日	学校三役歓迎会	竹の里
5月22日	第1回役員会	気仙沼向洋高校
6月18日	第2回役員会	気仙沼向洋高校
7月 1日	関東同窓会総会	第一ホテル 両国
11日	校内事務局会議	気仙沼向洋高校
13日	気仙沼向洋高校同窓会総会	
	サンマリン気仙沼ホテル観洋	
10月 1日	第3回役員会	気仙沼向洋高校
24日	仙台同窓会総会	KKRホテル仙台
29日	設立100周年記念講演会準備会議	
	中央公民館条南分館	
11月 9日	同窓会設立100周年記念講演会及び懇親会	
	サンマリン気仙沼ホテル観洋	
12月 1日	第4回役員会 兼 忘年会	秦平寿司
25年		
1月28日	第5回役員会	気仙沼向洋高校
	兼「陸水」第13号発刊打合せ	
3月 1日	卒業式 同窓会入会式	気仙沼市総合体育館
	「陸水」第13号発刊	気仙沼向洋高校

平成25年度 事業計画

25年		
4月 8日	入学式	気仙沼市総合体育館
5月20日	第1回役員会	気仙沼向洋高校
7月 1日	第2回役員会	気仙沼向洋高校
13日	関東同窓会 総会	ホテルグランドパレス(都内)
19日	気仙沼向洋高校同窓会 総会	気仙沼ホテル観洋
9月 9日	第3回役員会	気仙沼向洋高校
10月 9日	仙台同窓会 総会	KKRホテル仙台
10月20日	ソフトボール大会	気仙沼向洋高校
12月 6日	第4回役員会 兼 忘年会	秦平寿司
26年		
1月20日	第5回役員会	気仙沼向洋高校
	兼「陸水」第14号発刊打合せ	
2月28日	「陸水」第14号発刊	気仙沼向洋高校
3月 1日	卒業式 同窓会入会式	気仙沼市総合体育館

新校舎再建計画前進

副会長
内海勝行

震災の年の6月に校舎の早期再建を促進するための新校舎建設期成同盟を立ち上げることに伴って同窓会の取り組みがスタートされました。同時に、PTAや教育振興会の賛同を得て、気仙沼向洋高校復旧・復興委員会として気仙沼市長への要請書を提出すると共に県や県教育委員会にも要請書の提出に赴き、趣旨説明を行いながら早期建設を訴えて参りました。そのこうあって平成29年3月までに新校舎の建設完了の運びになりました。

多くの関係者の皆様に深甚なるお礼を申し上げますと共に、平成26年2月6日(木)にこれまでご尽力賜りました菅原気仙沼市長様と白幡教育長様に熊谷同窓会長からお礼の言葉が述べられました。

なお、階上塩田跡の我が母校は震災後丸3年を経過しても当時のまま手つかずとなっており、気仙沼市の震災遺構として検討されている建物となっております。

一日も早い新校舎の着工が待たれます。



2月6日(木) 14:30～市役所にて

平成25年度 気仙沼向洋高校同窓会総会



ご祝儀を手渡す小野寺良男先輩



今日のアドロクシオンは階上・明戸の虎舞のみなさん

7月19日(金)午後6時よりサンマリン気仙沼ホテル観洋にて、同窓生51名、来賓12名で総会が行われました。熊谷会長より「母校再建について用地の確定など難しい局面にある」との挨拶から始まり、瀬戸校長先生からは「この難しい局面にご理解をいただきたい」という旨の挨拶がなされ、重苦しい雰囲気のまま総会が終わりました。6時30分からの懇親会では気分を一転させ、母校の昔話に大きな花が咲き、大いに盛り上がりました。



仙台同窓会 島山昭伍会長による乾杯

母校への思郷

静岡県静岡市清水区 野村道雄
(昭和31年度水産製造科卒)



この度は、東日本大震災の記録並びに同窓会の会報「睦水」を送っていただきありがとうございます。早速、当地区の会員に配らせていただきました。

当時の状況は話では何っておりましたが、記録集を拝見し、震災の時の母校や在学生たちの行動と活躍の様子がよくわかりました。被災後の分散した不自由な避難生活を余儀なくされた教職員、生徒、保護者、同窓会等関係者の方々の苦勞がいかばかりか計り知れないものがあつたことと推察いたします。こうした中でも母校の新築移転が具現化し、平成29年度までに新築完成の見通しがついたということが、当会員一同としても心から喜んでいただいております。

ところで当地区同窓会発足の経緯ですが、昭和40年から昭和53年頃までは清水市内のはごろも缶詰(現在ははごろもフーズ)に勤務していた故広沢栄治さんと東京商社に勤務していた故渡辺二郎さんの二人が近隣に住んでいる同窓生10名に呼びかけて懇親会を開催しておりました。その後、昭和58年より年1回の同窓会として開催し、今日に至っております。

この会では、母校のことや恩師、在校生や卒業生の活躍、故郷気仙沼市等の状況が話題に出され、和やかな雰囲気での懇親会のみで特に活動らしいことは実施していません。

同封の写真は、一昨年5月に静岡市清水区三保園ホテルにおいて開催されたものですが、同7月に会長だった渡辺二郎さんが亡くなられました。以後、私が会長職を引き継いでおります。

現在の構成メンバーは、昭和32年次卒業生から平成6年卒業生まで10名です。内訳は、当時の製造科6名、漁業科3名、機関科1名で退職者6名、現役4名となっております。県内にはまだ多くの同窓生がおられるようですのでこれらの人たちにも呼びかけて開催しようと考えておるところです。



H24.5.18 於：三保園ホテル

私は大震災一年後に、階上公民館長の分不相応と承知しつつも、要職を仰せつかり二年目となりました。この間、「階上地区の復興・復旧状況」を公民館サイドから垣間見た一面を述べたいと思います。震災後から階上地区に山積していたガレキの山は、昨年十二月末で予定通り一掃され、近隣に住む住民は悪臭と騒音から解放されました。しかし風光明媚であった岩井崎からお伊勢浜の絶景は今荒涼たる風景と化かし、海に決壊した無残な破片が波間に見え隠れし、海岸線も田園風景一帯は、まるで別世界のような廃墟となっております。しかし、嬉しいことに自然の力は

偉大で、我々が高校時代に体験した海洋訓練跡地のお伊勢浜は七〇cm位地盤沈下し石ころ同然の砂浜が、回帰しようとしていることです。この場合は、市の「まちづくりの計画」では、現行より一〇〇mセツトバックし防潮堤が築かれるとの事です。このお伊勢浜のサーフは、我々は気水魂を叩き込まれた場であり、同窓生が異口同音に「不屈の精神はあの地で…」と豪語する御仁が多いことは、衆目の一致するところだと思えます。一日も早い「我が聖地」の回帰を望むところです。

また、過日、再び階上の地に母校の移転が決定したという朗報を仄聞しました。この件は向洋同窓生のみならず、階上住民も遅々として進捗しない事態を大変心配しており、ようやく安堵の胸をなでおろしているところでもあります。



「気水魂入魂の地」震災前のお伊勢浜



「階上の復旧・復興状況」について
気仙沼市階上公民館長 芳賀一郎
(43年水産製造科卒)

まだまだ復興復帰には幾多の難題が立ちはだかると思いますが、卒業生の一人として、このような時にこそ高校時代、あの聖地で培った心で、後輩諸君を陰ながら応援し、また、地元の方々と更なる絆を深め、向洋高校の再建を一日千秋の思いで待ちつつづける所存です。

学校便り

◆情報海洋科海洋類型

整備できた設備

一級小型船舶教習艇(けやきⅡ) 和船(はまなすⅡ、海洋Ⅱ) 救助艇(キュームラス) 視界再現装置付レーダー 操船シミュレータ装置 ジャイロコンパス、磁気コンパス 航海灯シミュレータ等 鋼船船体構造模型 救命いかだ イマージョン・スーツ 気象観測器材 海洋観測器材 ダイビング器材

【就職先】

《本科》 明豊漁業(株)／極洋水産(株)／八興漁業(株) 音代漁業(株)／豊国丸漁業生産組合 (株)イコース／日新船舶(株) 航海訓練所 (株)斎民商店／東北ドック鉄工(株)／(株)中村荷役 京浜物流(株)／横浜冷凍(株)
《専攻科》 英雄海運(株)／協同商船(株)／佐藤國汽船(株)
【進学】 本校専攻科漁業科 港湾職業能力開発短期大学校 仙台医健専門学校柔道整復科 仙台子ども専門学校こども総合学科

水産後継者の育成に向けて

海洋類型 神童 修

震災の年に入学した生徒が卒業する。この3年間、教育環境は良好であったとは言えないが多くの生徒が船や水産関連産業に進路を決めたことに感謝と期待をしたい。まだまだ、施設・設備や地理的な制約から、十分な指導が行えない状況にあるが、船や水産関連産業を業とする生徒を一人でも多く輩出するよう努めたい。同窓諸兄におかれましても、益々のご健勝と変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



唐桑町大立浜でのダイビング実習

◆情報電子類型

整備できた設備

GMDSS無線通信機器 インマルサットCシステム 対向無線通信実習装置 レーダー装置 マイクロ波通信実験装置 有線通信実習装置 IP、VOIP電話実習装置 ISDN、アナログ電話実習装置 気象衛星「ひまわり」受画装置 プリント基板作成装置 CADシステム 電子顕微鏡 タブレットPC

【就職先】

富士通ネットワークソリューションズ(株) NEC・東芝スペースシステム(株) コスモシステム(株)／東日本通信機(株) システムステーション／(株)エクスオ三幸 (株)三浦組／(株)水産(株)／(株)戸部電材(株) 日通商事(株)／(株)気仙沼商会

【進学先】

東北学院大学 東京スクールオブビジネス 仙台医健専門学校／デジタルアーツ仙台 専攻科／無線科

希望がかなう明日へ

情報電子類型 高橋 春義

震災後の復旧を一日でも早く進めるために事務室の先生方を始め多くの皆様にご協力をいただきながら新しい施設、設備の導入に力を注ぎました。お陰様で、実習装置などにはメドが立ったものの、それを有効活用する実習指針の作成はこれからの仕事です。

これからは、生徒募集にも力を注がなくてはなりません。ここで勉強する内容や必要とされる学力が、企業にも必要とされる人物として理解していただけるよう工夫が必要です。今後とも変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



出前授業での有線通信実習

◆産業経済科

整備できた設備

ガス式ボイル槽 サイレントカッター 高周波解凍機 真空乾燥機 自動レトルト包装機 M-2セミオートマチック パキュームシーマ レトルト殺菌機 アイスクリームフリーザー ミキサー ホイロ スーパーオープン ガスレンジ リターダ 二重釜 電気式フライヤー

【就職先】

ヤマザキ・ナビスコ(株)／日本レストランシステム(株)／白石食品工業(株)／(株)蔵王プロヴァンスファーム／(株)齊吉商店／(株)ホテル佐助／ホテルパールシティ気仙沼／アイランド／日産自動車(株)／(株)山勝山館／(株)小野万／(株)タイハク／(株)システムステーション／(株)千葉誠／アイリスオーヤマ(株)／(株)足利本店／(株)利久／山崎製パン(株)／(株)岩屋屋ホテル／(株)ソノン

【進学先】

武蔵野調理師専門学校／仙台子ども専門学校／仙台理容美容専門学校／仙台医療福祉専門学校／宮城調理製菓専門学校／日本デザイナー芸術学院仙台校／東北動物看護学院／仙台子ども専門学校／仙台青葉学院短期大学／仙台医療福祉専門学校／名古屋ユマニテク歯科製菓専門学校／仙台大原簿記公務員専門学校／仙台医療福祉専門学校／宮城県立気仙沼高等技術専門学校／宮城調理製菓専門学校／都留文科大学／東京ウェディング&ブライダル専門学校／仙台医健専門学校

地産・地消

産業経済科 船引 裕介

春から仮設実習工場を使用できるようになり、3年ぶりに自分たちの工場でさんま缶詰を製造することができました。缶詰は向洋祭を始め各種イベントで販売され、大好評を博し、全て完売となりました。主要な設備がほぼ揃ったので、実習も充実し、課題研究でサメの缶詰を試作するなど、様々な試みも可能になりました。

今後は、復旧した設備を有効利用しながら、様々な食品の製造や分析、検査の技術とともに、マーケティングや商品開発の力も身につけて、地元企業で活躍できる人材の育成に努めたいと考えています。



復活したサンマ缶詰生産実習

◆機械技術科

整備できた設備

4尺旋盤 6尺旋盤 CNC旋盤 万能試験機 交流アーク溶接機 TIG溶接機 半自動溶接機 スポット溶接機 マルチワーカー 分解組立用ガソリンエンジン FMS実習装置 ロボット・CNC実習装置 CAD実習装置 ドラフター

【就職先】

石川電装(株)／(株)おやま製作所／木戸浦造船(株)／キャノン電子(株)／(株)クボタ／(株)気仙沼商会／(株)小森コーポレーション／(株)佐々木設備工業／ジオマテック(株)／白石電気工事(株)／(株)スミハツ／(株)トップハウザーササキ／(株)登米精巧／日産自動車(株)／(株)東日本宇佐美／日野自動車(株)／富士重工業(株)／(株)藤田鐵工所／やましち建設(株)／(株)リコー／リック(株)／自衛官候補生

【進学先】

関東学院大学／城西国際大学／千葉工業大学／東北工業大学／東北職業能力開発大学校／宮城県立気仙沼高等技術専門学校／国際医療福祉専門学校一関校／仙台医健専門学校／仙台ビューティーアート専門学校／仙台YMCA国際ホテル専門学校／東京アニメ・声優専門学校／東放学園音響専門学校

同窓生に守られていると実感

機械技術科 武田 修司

今年度は実習設備の整った中で実習を進めることができました。新しい機械の操作に戸惑いながらも、一生懸命取り組む生徒の姿に、我々も「苦労したけど本当に良かった」と感じました。また、仮設実習棟完成記念として「技能五輪実演見学会」を実施しました。旋盤・溶接・板金・自動車工4職種を本校同窓生の協力の元、デモンストレーションしていただきました。生徒達は感銘を受け、「先輩の様になりたい」と志高を持ってたようでした。

資格指導から授業支援まで多くの同窓生に見守られている...そう実感できた一年でした。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



技能五輪実演見学会

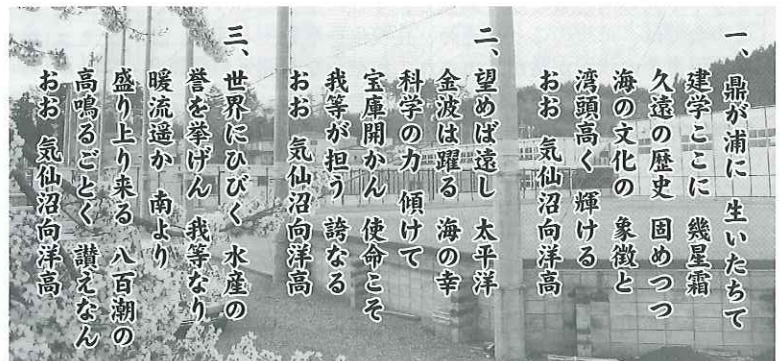
編集後記

同窓会会報「睦水」第14号を発行するにあたりまして、ご協力をいただきました校長先生始め先生方および皆様一言御礼申し上げます。

今年度は学校の復旧が目に見えてきて、うれしい報告が紙面を飾ることになりました。また、関東同窓会・菊田会長よりの紹介で静岡県での先輩方へ繋がるなど、同窓会の輪が広がって参りました。

今後も皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

会報「睦水」編集委員会



一、鼎が浦に 生いたちて 建学ここに 幾星霜 久遠の歴史 固めつつ 海の文化の 象徴と 湾頭高く 輝ける おお 気仙沼向洋高

二、望めば遠し 太平洋 金波は躍る 海の幸 科学の力 傾けて 宝庫開かん 使命こそ 我等が担う 誇なる おお 気仙沼向洋高

三、世界にひびく、水産の 誉を挙げん 我等なり 暖流遙か 南より 盛り上り来る 八百潮の 高鳴るごとく 讃えなん おお 気仙沼向洋高